



全国畜産縦断いきいきネットワーク

いきいき通信 第29号

2019年10月











清秋の候、会員のみなさんお元気ですか。

8月の大会も終わり、いよいよ秋の季節となりました。

さて、今回は今年度入会された方からのメッセージ、大会、農林水産省との意見交換の様子などを中心にご紹介します。

～目次～

 令和元年度総会報告	1
 令和元年度理事のみなさん	2
 令和元年度新規会員からのメッセージ	3
 令和元年度大会の様子	7
 行政ご担当者との意見交換会 in 霞が関	13
 地域の女性グループの活動紹介	20
 協賛会員のみなさま（令和元年度）	22
 編集後記	34

全国畜産縦断いきいきネットワーク

<http://jlia.lin.gr.jp/joseinet/>

全国畜産縦断いきいきネットワーク 令和元年度総会報告

会員の皆様には、去る令和元年6月10日付けでご案内し同月28日に令和元年度書面総会を開催しました。

議案は、以下のとおりです。

第1号議案

1. 平成30年度活動報告
2. 平成30年度収支決算報告

第2号議案

1. 令和元年度活動計画（案）
2. 令和元年度収支予算（案）

第3号議案

- 令和元年度理事の改選（案）



令和元年度理事のみなさん

令和元年度総会で選任された理事のみなさんです。

区 分（役員）	氏 名	都道府県	畜 種
会 長	小林 陽子	三重県	養 豚
副会長	柴田 誠子	秋田県	酪 農
	金谷 恭子	埼玉県	肉用牛
会計監事	嶋田 文代	埼玉県	採卵鶏
	木目澤 久實子	福島県	酪 農

区 分（理事）	氏 名	都道府県	畜 種
北海道・東北 北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	柴田 誠子	秋田県	酪 農
	木目澤 久實子	福島県	酪 農
関 東 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京 神奈川・山梨・長野・静岡	月井千枝子	栃木県	酪 農
	金谷 恭子	埼玉県	肉用牛
	嶋田 文代	埼玉県	採卵鶏
	福田 弥生	神奈川県	酪 農
	田中 真紀子	神奈川県	酪 農
	佐藤 弘子	長野県	養 豚
北 陸 新潟・富山・石川・福井	島田 玲子	新潟県	養 豚
	長井 節子	富山県	酪 農
東 海 岐阜・愛知・三重	清水 ほづみ	愛知県	酪 農
	小林 陽子	三重県	養 豚
近 畿 滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	池田 喜久子	滋賀県	酪 農
中国・四国 鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川 愛媛・高知	砂流 裕美子	島根県	酪 農
	藤井 美佐	岡山県	採卵鶏
	熊野 智子	愛媛県	採卵鶏
九州・沖縄 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島 沖縄	畠中 五恵子	福岡県	採卵鶏
	中島 陽子	福岡県	養 豚
	那須 真理子	熊本県	肉用牛
	羽田野 由紀子	大分県	肉用牛

令和元年度新規会員からのメッセージ

令和元年度に新たに会員になられた皆様から自己紹介をおよせいただきました。みなさま、どうぞよろしく願いいたします。

■小野 綾乃さん（山口県 養豚一貫）

山口県萩市の山間部で養豚場を経営しております。

社員数名と夫、義父母で生産、育成、精肉販売までの一環経営です。

実家は和牛繁殖と水稻の兼業農家でしたが幼稚園からの同級生でもある夫と結婚し養豚の世界に飛び込みました。

牛も豚もそんなに変わらないだろうと思っていたら大間違いでした。

現在は現場仕事から離れて、経理、事務、営業と走り回っております。

大変、小規模な農場ではありますが『むつみ豚』を愛してくださるお客様に感謝し未来ある養豚業を目指し、社員一同成長して参ります。



■鎌田 京子さん（徳島県 肉用牛（和牛繁殖一貫））

「新時代！令和！2020！東京オリンピック・パラリンピックに向かって！」



阿波踊りで有名な徳島県の農事組合法人 長峰肉牛生産組合の鎌田京子です！

この2～3年、中央畜産会各デスクにこんなにお世話になるとは思っていませんでした。

まず、平成28年度畜産・酪農収益力強化整備特別対策事業に参画、クラスター事業の実現！

平成29年農福連携にトライ！障がい者支援施設の利用者

さんと助け合い、中央畜産会などでつくる、畜産支援協議会の徳島県代表にあたり事例発表と意見交換会とマッチングに成功！

平成30年3月、徳島県獣医師会、畜産・産業部会で、農場 HACCP 認証取得事例発表！衛生管理重視を指導！

平成27年度から社長を筆頭に30年度まで農場 HACCP 指導員5名、農場 HACCP 審査員3名、JGAP 指導員4名、JGAP 審査員試験合格3名を1農場から挑戦！達成！

徳島県畜産振興課、家畜保健所、畜産協会の専門的な助言、指導を頂き、平成30年2月徳島県初農場 HACCP 認証農場となる。

平成30年2月 GPA 取得チャレンジシステム取り組み認定農場となる。

平成31年3月中国四国初 JGAP（家畜・畜産物）認証農場となる。

農水省からの要望に応えるため、中央畜産会の衛生指導部の先生方には、大変お世話になりました。

私たち農家を良くぞ、ここまで、ご指導くださいまして、感謝の気持ちで一杯です。

先代から受け継いだ時は F1 肥育 1,000 頭、地元スーパーに地産地消として JAS で安全・安心で売り出していました。

子牛の高騰、飼料高騰、TPP 問題、畜産に取り巻く事情により、和牛繁殖一貫経営に切り替え、長男が人工授精師、受精卵移植師の資格を持っていたため、繁殖にめざめ、精液、卵子、肥育、精肉とオール徳島！JA で販売。繁殖

プロフェッショナルチームも雇い、専属獣医師の確保、哺育経験者との連携プレイで出産対応もでき、時代に沿えるよう IT 技術活用、飼養牛の AI 管理システムを長峰独自の繁殖専用に取り換えてもらい、全職員スマホによる情報の共有、web カメラによる常時飼養管理、若い職員を確保するための作業効率の対応、アニマルウェルフェアに対する予防管理の意識向上、農福連携での障がい者さんに対する作業しやすい工夫などに努める。

研修生を受け入れていた経緯で、中国四国酪農大学（農場 HACCP 認証大学）からの卒業生を雇用、先日、東京農大から 4 人インターンシップによる受け入れ対応を行えたところです。大学院を卒業し某企業の企画室に就職していた次男も去年一緒に畜産経営、繁殖したいと帰って来てくれました。

世界に対応できる水準にできる限り意識をかたちに変え攻める畜産を実践し令和の時代に、息子たちにバトンを確実に渡せるよう、畜産振興に貢献したいと思っています。

全国畜産縦断いきいきネットワークに参加しようとなった経緯は、徳島県で人気の姫ちゃん！事、姫田副会長に徳島研修でお会いすることができ、お誘い下さり参加する事となりました。お手柔らかなによりしくお願いいたします。

鎌田京子トレーサビリティ情報

家族 夫（社長）、長男、長女、次男、嫁、孫、姑（92 歳）、犬、猫

出身 コテコテの大阪（縁で徳島県に嫁入り、島流しされただけ）

年齢 不明（気持ちは 20 歳）

学歴 畜産まったく関係ない、、、大卒

趣味 毎年の娘のお付きの海外旅行

モットー 意識はかたちになる！諦めるのはあと！

徳島県の友達 孫と銀行

なんでやねん！農水省 M 川さんとの漫才トーク。

好物 中央畜産会衛生指導部

目標 ISO22000 が理解できること！

勉強したい事 世界のアニマルウェルフェア

最近挑戦したこと 農水省 M 川さんと中四国農政局を GPA 指導

ま、今日は、この辺で！



令和元年度大会の様子

8月22日、「全国畜産縦断いきいきネットワーク大会」が、TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンターにて開催されました。今年度は中央畜産会が実施する畜産女性経営者強化事業の「全国シンポジウム」と同日の開催となりました。

全国から会員、会員のご友人、畜産関係団体等、約160名の方々にご参加いただき、「女（ひと）と男（ひと）ですすむ経営参画 ～ともに歩み出そう、新しい時代へ～」のテーマのもと、基調講演、パネルディスカッション、毎年恒例の1分間スピーチ等が行われました。

会長の小林陽子さんは、「畜産の現状が厳しく不安なときこそ、ともに活動し、同じ畜産に携わる本ネットワークの仲間が存在が心強く感じている。」と述べ、「魅力ある仲間であり続けるために、励まし合い喜び合える絆を育ていきたい。」と挨拶しました。

続いて、来賓挨拶では、農林水産省生産局畜産部 渡邊部長の代読をされた畜産企画課 伏見課長から「農業の成長産業化には女性の活躍が欠かせない一方で、女性が活躍するには様々な課題がある。女性、男性に係わらずお互いに助け合いながら進んでいく新しい畜産の実現に向けて、意識の高いみなさんに先陣を切ってほしい。」、公益社団法人中央畜産会井出副会長から「この大会で女性の力の偉大さや必要性を広く発信していただくとともに、女性と男性がともに輝く畜産の明るい未来のために、皆で話し合っていただく良い機会にしてほしい。」とご祝辞を頂戴いたしました。



小林会長



伏見畜産企画課長



井出副会長



司会の島田玲子さん
(新潟県 養豚経営)

農林水産省経営局就農・女性課 横田課長による基調講演では、「農業における女性の活躍推進について～男女共同参画の目指すところ～」をテーマに、国の施策や女性の農業に係る課題について講演され、女性の多様な視点が経営の発展、さらには地域社会への貢献につながっており、様々な課題を解決するためには女性が先頭に立って情報発信することが大事であると述べた上で、そのための仕組みづくりを行政として支援していきたい、一つ一つの取り組みが世の中を変えていく大きな力となると述べられました。



横田就農・女性課課長



基調講演の様子

続いて行われたパネルディスカッションでは、「女性の経営参画への道のり、男性の意識をどう変えたか」をテーマに、コーディネーターにフリーアナウンサーの小谷あゆみさんを迎え、パネラーとして、長井節子さん（富山県 酪農経営） 加藤美子さん（三重県 肉用牛経営）、畠中五恵子さん（福岡県 採卵鶏経営）、柴田輝男さん（秋田県 酪農経営）、坂本直弥さん（神奈川県 採卵鶏経営）に意見を伺い、パネラーや会場からの発言に大いに盛り上がりました。

以下、ディスカッションの主な内容を紹介します。

▷パネルディスカッション内容◁

【女性が経営外での活動に参加することについて】

■柴田輝雄さん

婿としての立場もあり、奥さんが外に出やすい環境にしてきた、外に出ることで見聞が広がり、娘が経営を継いだのも母親が楽しそうにしていたからだと思う。

■加藤美子さん

経営外での活動に参加することについて主人は当初あまりよく思っていなかったが、カレンダーに自分の予定を書いてアピールすることで、徐々に認められるようになった。

■長井節子さん

酪農の仕事について何でも興味を持ってキラキラと働いている姿を主人が喜んでくれたので地域の活動にも参加することができた。

■畠中五恵子さん

情報をどれだけ持っているか、社会とのつながりがどれだけあるかが経営に参画する上で大事であり、これらは経営外での活動により得られる。

【女性が経営外へ出るための最初の一步、きっかけについて】

■坂本直弥さん

お互い向かい合う環境をつくることが大事。女性だから、男性だからということではなく、色々な意見を聞いてどんどん環境を変えて行けば女性の参画につながる。

■畠中五恵子さん

旦那に言われるだけでなく、自分の努力で恵まれた環境をつくることも仕事のうちの一つだと思ってやってきた、そのおかげで直接色々な人と話することができた。

受賞などで周りが認めてくれると外へ出やすくなるので周囲の評価も大事。

■長井節子さん

まずはお茶会でも何でもよいので集まろうと声をかけること。

～会場からの意見～

■久保佳代子さん（埼玉県 肉用牛経営）

いきなり県外へ出るのはハードルが高いので、まずは地域の活動に参加することから始めると良いのではないかと

■吉田恵子さん（神奈川県 酪農経営）

地域のリーダー的な人が誘ってくれると集りに参加しやすくなる、経営に係る内容の集りであれば家族の理解も得やすい発言されました。

【その他、会場からの意見・質問】

■廣野正則さん（香川県 酪農経営）

女性がいきいきしている経営は、コミュニケーションが取れているととてもいい経営である。これまで様々な課題を乗り越えてきた原動力がこのネットワークであると思うので次の世代までつないでほしい。

■川上志江さん（長野県 養豚経営）

女性がある程度経営に参画していても、意思決定にまで関わっている経営はまだあまりないのではないかと。意見を言いやすくなるような環境を周囲の人がつくることと、女性自身が訓練したり情報収集することが必要だと思う。

■宮良妙子さん（沖縄県 肉用牛経営）

家族経営協定に関してどのような行政のサポートがあったらよいと思うか。

～柴田輝雄さんより回答～

軽油免税やヘルパー制度、第三者継承に係る制度の充実など。

パネルディスカッションの後に行われた毎年恒例の1分間スピーチでは、1分間では終わらない方も続出するほどの熱い思いを自由に会場に語りかけました。



パネルディスカッション様子



長井節子さん



加藤美子さん



畠中五恵子さん



柴田輝雄さん



坂本直弥さん



大会宣言
田中真紀子さん

最後に、田中真紀子さん（神奈川県 酪農経営）により大会宣言が発表され、満場一致で採択されました。

宣言文は以下のとおりです。

宣言

1. 次世代につながる魅力ある畜産経営の実現のために、全国で活動する畜産に携わる女性が、全国畜産縦断いきいきネットワークに集い、活動の輪に加わるよう呼びかけます。
まずは、今日参加された友人から活動の輪に加わっていただくよう呼びかけます。
2. 諸外国との畜産に関連する交渉にあたっては、畜産生産基盤の基本である家族経営の安定を旨とし、国、県、関係団体、生産者が一体となって取組みを進めていきます。
3. 口蹄疫、アフリカ豚コレラ・豚コレラ、鳥インフルエンザをはじめとした悪性伝染病の海外からの侵入防止に国は全力を注ぐとともに、私たち畜産経営は徹底した飼養衛生管理を行うことにより、安全な畜産物の生産供給に努め、国産畜産物に対する信頼の維持に努めます。
4. 引きつづき畜産関連の生産情報を発信し、消費者との交流を深め、国産畜産物の消費拡大を呼びかけます。



行政ご担当者との意見交換会 in 霞が関

全国畜産縦断いきいきネットワーク大会の翌日に、農林水産省の職員の皆さんと畜産を取り巻く課題について意見交換会を開催した。今年は、いきいきネットワークの会員、ご友人等 58 名、農林水産省のご担当者 12 名が参加しました。

以下は、その意見交換会の要旨です。

開催日時：令和元年 8 月 23 日（金）10：00～12：00

開催場所：農林水産省 共用第 2 会議室

テーマ：①生乳生産の今後のビジョンについて

- ②アフリカ豚コレラ・豚コレラや口蹄疫等の防疫対策について
- ③未来の畜産政策について（国内の畜産物をどう守るか）
- ④獣医師の担い手確保について

テーマ① 生乳生産の今後のビジョンについて

■酪農経営

今年度 4 月より乳価が 4 円引き上げられ、農家に支払われる乳代も 2 円 60 銭となったが、以前のような生乳の生産調整が強いられることがないよう、国として考えてほしい。

また、酪農家戸数の減少は歯止めがかからず、廃業する農家のほとんどが家族経営である。農家戸数減少についてどのように考えているか。

■農林水産省

近年の状況は、個別農家の規模拡大は進んでいるものの、農家戸数が減り生乳生産量は減少、生乳需給が逼迫している。また、北海道で生産量が増える一方、都府県では減少しており、その差が拡大している。北海道からの供給にも限界があり、都府県でしっかり生産していただいて、国民のみなさんに飲みたい牛乳をしっかりと供給できるということが一番大事である。

また、都府県では乳業処理工場の老朽化等により、生乳が増えたときに処理できないという心配もあるかもしれない。一定の稼働率を確保できることも重要ではないか。

飲用乳価が上がったこのタイミングで、経営を改善していくなど将来につなげていく形を作っていたいただきたいと思っている。

■酪農経営

娘が就農して5年、雇用も考えてるが、人件費が高いのが問題である。努力はするが、何か手立てはないか。

■農林水産省

酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針の見直しを行っている中で、酪農家から意見を聞く機会があり、雇用については一日ではなく半日だけでも手伝ってくれるとありがたい、そのような雇用の仕方もあるのではないかの意見があった。

外国人を受け入れる制度も進められており、外国人を雇用しやすい環境になってきている。景気が良くなり、人材の取り合いとなっている中、様々な方法を見つけて行かなくてはならない。酪農ヘルパーの地位向上や職業として認知してもらうことも大事。やるべきことはやっていきたいと考えている。

■酪農経営

乳価を上げてほしい。メーカーとの交渉で乳価が決まるが、国の補助金など入れてくれることはできないか。

また、肥育牛に対しては免税対象であるが、育成牛についても免税できるような制度はないか。

■農林水産省

加工原料乳については国が補給金を出しており、毎年額を決めている。乳価については指定団体と乳業メーカーとの取引なので国は口を出せないと思っている。一方で、不当な安売りを防止すること等についてはガイドラインを作ったところである。

免税措置ということではないが、育成牛については簡易牛舎などを対象としたものもあるので、農協等を通して情報が共有されるようにする必要がある。

■酪農経営

乳価は日本中同じではない。安いのは九州と東北。せめて他県と同じレベルまでに上げてほしい。

■酪農経営

若い夫婦でも生乳生産で十分生活できるように乳価について国の政策を考えてほしい。

■酪農経営

乳価については個々のメーカーとの交渉、戦いでもある。地域の各ブロックでしっかり交渉をしている。オリンピックまでは子牛の高値が続くという話は誰かが言い出したわけでもない。オリンピック以降も高値が続くようなしっかりした経営をにしていかなければならない。そのために女性にもしっかりと頑張ってもらいたい。

■養豚経営

みんなで意見を出し合えば希望につながっていくと思う。

■農林水産省

生産調整については、国が生産量を割り当てるという話ではないと思う。今は乳価が上がっているが、基本的には量と価格はセットで考えていくものではないか。きちんと加工できるような体制を整えたり、需要を見越して生産することも必要。国に頼まれて生産しているのではないはずなので、子牛の価格や堆肥販売、牛舎への投資等を総合的に見据えて経営を作っていくことは経営者たる生産者の責任であることも申し上げたい。

テーマ② アフリカ豚コレラ・豚コレラや口蹄疫等の防疫対策について

■養豚経営

ワクチン接種により価格やスーパーなどへの仕入れに影響はないか。愛知県産の豚を県外へ持ち出すことはできるのか。

また、空港での防疫対策もしっかりしてほしい。今後どのような指導や流通対策をするのか教えてほしい。

■農林水産省

豚へのワクチン接種は効果もあるがデメリットもある。その一つが風評被害であり価格にどのような影響がでるか分からない。ワクチン接種を行った場合、非清浄国とならないようにするためには、原則として流通管理が必要になる。現在、流通管理が可能かどうかも含め、各県の意見を聞いているところ。可能な限

りデメリットを抑えたいと考えるが、ワクチン接種は慎重に考えなければならぬ。ワクチンを接種しようがしまいが、豚コレラの対策の柱は飼養衛生管理の徹底であることは変わらないので、引き続き対応をお願いする。

空港では探知犬を増やしている。水際対策として大量に豚肉を持ち込んだ場合、逮捕、罰則強化などの対応しており、今後も強化を検討していく。

イノシシ対策についても捕獲を強化している。総合的な対策を続け、終息に向けて取り組みたい。

■養豚経営

様々な取り組みをしているが豚コレラ発生から1年が経過しており長すぎる。石灰の散布については他県の石灰が配布されるなど対応に問題ある。東京ではメディアにもあまり取り上げられず危機感がない。イノシシの経口ワクチンは人手がなく時間がかかりすぎではないかと思う。県のリーダーシップを発揮してほしい。

■農林水産省

イノシシの経口ワクチンは撒いたら全てのイノシシが食べて効果が得られるわけではないので、長期的な取組になる。捕獲の強化も含め、総合的にイノシシ対策を進めていきたい。農場に柵を設置する支援なども考えており、農場にウイルスを入れないために何をすべきか、農家も含め関係者と連携をとっていきたい。

■養豚経営

イノシシの経口ワクチンの散布について、自衛隊をお願いすることはできないか。

■農林水産省

現時点でイノシシの経口ワクチン散布について、自衛隊が散布するということはしていないが、防衛省とは日頃から意見交換しており、様々な協力をいただいているところ。引き続き調整、連携していきたい。

■肉用牛経営

各省庁で連携をとってほしい。

テーマ③ 未来の畜産政策について（国内の畜産物をどう守るか）

■肉用牛経営

消費者が求めているのは広大な土地で育った健康な牛である。最近では雌雄産み分けの技術の進歩や、屋内で肉が生産できるという情報もある。

TPP、FTAにより牛肉の輸入量が増加している中、今後、牛肉をどのような方向で生産するのか、規模拡大していった方がいいのか聞きたい。

■農林水産省

近年、発情発見装置などの機械や AI 等の技術が進んでおり、人手不足への対応や省力化対応等、経営の発展につながる取組を将来的に見据えていくべきと考えている。

屋内生産した肉、培養肉は農場で生産した肉とはちがう。農家は生産だけでなく、地域の経済を守り、農村を維持していく上でも必要。いかに自然と調和し、地域の資源を活用して生産していくかという方向は変わらない。農家のみなさんと話し合いながら将来の畜産を考えていきたい。

和牛の遺伝資源の流出についてはストローの管理などしっかりやるべきであり、立ち入り検査などの体制づくりも必要。県によって管理体制に斑があるので、ルール化するなど、法律を見直すところはないか検討している。

■農林水産省

事前に寄せられた会員（肉用牛経営）の意見にあった、和牛が国内固有ものとして確立することについて、和牛の PR について、と畜場の再編について答えたい。

全国食肉公正取引協議会が肉を販売する際の表示やルールを決めており、外国で和牛として表示している肉を輸入しても条件を満たさないと和牛と表示できないとルールを定めている。国と流通業者が一丸となって和牛の流通体制を構築しているところである。

PR については、関係団体とも協力して、国産食肉の安全性の PR やイベントの開催をしており、今後も消費拡大に向けた取り組みを行っていきたい。皆様方におかれては、輸入品に負けない美味しいお肉を引き続き作っていただくことも重要。

と畜場の再編については、現在、稼働率が低いと畜場が多いので、再編する必要があるのでは、予算を処置している。地域の実状にあった再編計画を地域の自治体と相談してほしい。

■養豚経営

各県に1つと畜場が必要なのか。

■農林水産省

各県の判断となるので、国は県の計画に併せて支援していく。

■肉用牛経営

先ほど説明のあった和牛表示のルールは世界で適応されるのか。農林水産省は世界の組織の中で意見をしているのか。

また、メガファームと農業が地域文化を守ることにどう考えるか。

■農林水産省

ガイドラインは国内の話。産地では生産者や行政が一体となってブランド牛のGI商標登録を取るなどしてブランドを守っている。

■農林水産省

和牛は一般名称。和牛統一マークでしっかり表示している。和牛は日本のものと理解され高価格で取引されている。外国の和牛と日本の和牛は明確化されている。

■農林水産省

メガファームが地域をつくるのではなく、地域と連携していくことが大事。地域の中での役割分担を考えていくことが大事。

テーマ④ 獣医師の担い手確保について

■肉用牛経営

若く能力のある獣医師が公務員を辞めて開業し、小動物診療に携わる人が目立っている。獣医師が職業を選択するにあたって考えるのは所得とやりがいだと思う。公務員の所得は開業医に比べだいぶ少ないと聞いている。重要な職責を担っている家畜保健衛生所の獣医師の待遇を改善しないと現場は困ってしまう。女性の動物看護師を畜産現場にも認めて働きやすい職場にすることが重要と考える。

■農林水産省

このような意見は多くあり、重要な問題と考え取り組みをしている。産業動物獣医師、公務員を目指す学生を対象に修学資金を貸与する制度があり、修学サポートをしながら、産業動物の診療や公務員に携わってもらえるような施策を行っている。産業動物診療の現場の面白さを知らないまま小動物診療を目指す学生が多く、実際の産業動物診療の現場の体験やそのための費用の支援も行っている。しかし、このような支援を知らない学生もいるため情報を周知したい。

所得については、各道府県でできる限りのことをしていただいている。現場の魅力を感じてもらえるよう取組んでいる。

■採卵鶏経営

大学の定員が少ないことが問題だと思う。都会の私立大学に行った学生は産業動物獣医師になる人は少ない。国立大学の定員を増やさないと産業動物獣医師は増えないと思う。獣医師不足という認識を国は持っていないのではないか。その認識を変えてほしい。

■農林水産省

産業動物獣医師が足りていないという認識は持っている。産業動物に目を向けてもらうように取り組んでいきたい。小さい頃から産業動物に触れてもらうなど、大学に入る時点で産業動物獣医師を希望してもらえるような取り組みのアイデアがあれば知恵をお借りしたい。



地域の女性グループの活動紹介

このコーナーでは、各地域を拠点に活動している女性グループの取り組みを紹介します。今回は岡山県で活動している「おかやまフォーベルネット」の活動をご紹介します。

島根県・鳥取県・岡山県との交流会開催

『畜産農業をより魅力ある職業へ！！～キラキラする私でいるために～』

一般社団法人 岡山県畜産協会

平成31年3月18日(月)岡山県津山市にて3県合同の交流会を開催しました。島根県8名、鳥取県13名、岡山県14名の計35名の参加となりました。

この交流会は、平成21年度から始まり、今年度で10回目となります。

今年度は、当番県であるおかやまフォーベルネット役員の「心に残る交流会にしたい。何か仕掛けがあれば・・・」との思いから、ファシリテーターにイナアソシエーション代表 立野 美香先生をお迎えすることとしました。

立野先生の軽快な関西弁に、参加者はすぐに引き込まれたようです。

自己紹介に椅子取りゲームなども交え、会場は大いに盛り上がりました。

次に、2人1組となり、4つのテーマ「今の気分」「自分の長所」「最近不安に感じていること」「喜びを感じていること」について自由に話し合った後、聞き手・話し手の役割をきめてそれぞれ3分程度話し合います。それを相手を変えながら3回程度行いました。

おかやまフォーベルネット会員の川崎さんからは、「この研修では“どう行動するか”ではなく“どうあるべきか”ということを考える場になりました。相手の気持ちを受け取ること。心を込めて聞くこと。話に興味を持つこと。もし(言葉の)キャッチボールが上手に出来ると、相手との信頼関係が構築されると思います。まずは身近な家族から！そうすれば自分にも、必ずプラスになって返ってくると思います。

夫は仕事でのパートナーでもあるので、聞くスイッチをカチッと入れて、途中で話の腰を折らずに最後まで聞けるように努力しようと思います。そうしたら、経営が改善するかも？」<岡山畜産便り 2019年4月号より抜粋>との感想も寄せられました。

その他のアンケートにおいても、「初めて体験することだったが、普段忘れがちな自分自身のことを考えることができた。」「口下手な私もしっかりと話が

できた」などの感想も上げられ、充実した時間となりました。



協賛会員のみなさま
(令和元年度)

(順不同)

- ◇ 一般社団法人家畜改良事業団
- ◇ 公益社団法人日本食肉格付協会
- ◇ 合同会社イーラップ
- ◇ 明治飼糧株式会社
- ◇ 株式会社中嶋製作所
- ◇ 公益社団法人全国農業共済協会
- ◇ 富士平工業株式会社
- ◇ 北海道全日本畜産経営者協会
- ◇ 独立行政法人農畜産業振興機構
- ◇ 一般社団法人日本ホルスタイン登録協会
- ◇ 全国食肉事業協同組合連合会
- ◇ 全国肉牛事業協同組合
- ◇ サージミヤワキ株式会社
- ◇ ヨシダエルシス株式会社
- ◇ 株式会社岡田製作所
- ◇ 中国物産株式会社
- ◇ 一般社団法人日本養豚協会
- ◇ 東西産業貿易株式会社
- ◇ 株式会社大建情報システム
- ◇ 全農畜産サービス株式会社
- ◇ オリオン機械株式会社
- ◇ 一般財団法人畜産環境整備機構
- ◇ 有限会社ハーレー牧場
- ◇ 有限会社那須高原今牧場
- ◇ ひふみ養蜂園株式会社
- ◇ 協同組合日本飼料工業会
- ◇ 一般社団法人日本草地畜産種子協会
- ◇ 全国畜産農業協同組合連合会
- ◇ 株式会社農林放送事業団
- ◇ 一般社団法人日本養鶏協会
- ◇ 株式会社コーンズ・エージー
- ◇ 埼玉県武州和牛組合
- ◇ 日本養豚事業協同組合
- ◇ 株式会社肉牛新報社
- ◇ 全国農業協同組合連合会
- ◇ 中部エコテック株式会社

協賛広告


☆ 優良遺伝子の作出・供給
 ☆ 能力検定と最新情報の提供
 ☆ 改良・繁殖技術の研究開発




一般社団法人 **家畜改良事業団**

〒135-0041 東京都江東区冬木 11-17 インマビル
 TEL 03(5621)8911(代) FAX 03(5621)8917 <http://liaj.lin.gr.jp/>


◆明るい畜産の未来を、遺伝的改良と先進技術でサポートいたします。



公益社団法人
日本食肉格付協会



〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-1-2 (NCO 神田淡路町 2F)
 電話 03(3257)0220 (代) FAX 03(3257)0224



◆公正かつ厳正な格付を実施し、食肉・畜産関係者や消費者の利益になるよう努めております。




ロール用ネットとラッピング・フィルム
 の専門会社 イーラップ

信頼あるブランドと価格で畜産農家のコスト削減！

e-wrap 合同会社 イーラップ
 代表 柴田輝男

〒018-0803
 秋田県由利本荘市西目町西目字大馬目432
 TEL 090-2998-7931
 営業アドレス info@e-wrap.co.jp

◆ロール用ネットとラッピング・フィルムの専門会社・イーラップ
 会社コンセプト：信頼あるブランドと価格で畜産農家のコスト削減！

協賛広告

meiji 明治飼糧株式会社
明治グループ

すべてはお客様の「笑顔」のために
<http://www.meijifeed.co.jp/>

◆酪農、畜産のベストパートナーを目指して、安心・安全な飼料をお届けします。

良い卵・良い肉を育成する給餌システムを構築する

ものづくりを通して、畜産業界に貢献したい。それは、私たちにとって技術とは心だからです。

株式会社中嶋製作所
〒388-8004 長野県長野市篠ノ井会 33
TEL. 026-292-1203 FAX. 026-293-1611

www.nakamatic.co.jp

◆お客様の経営理念にあった飼料給餌システムを提供することで、共に生きていくことを目指しています。

農業共済新聞 営農、暮らし、地域の活性化へ NOSAI

一緒に見ませんか 明日の農業

毎週水曜日発行
月ごめ 420円(巻)
年ごめ 4680円巻

全国の農家を安心のネットワークで固く結ぶ農業専門情報紙です

発行所 全国農業共済協会 東京都千代田区一番町 19 TEL 03 (3263) 6413 FAX 03 (3221) 7978

◆営農と暮らしに役立つ情報を毎週お届けします。

協賛広告

弱酸性次亜塩素酸除菌水
FHK除菌革命生成装置

『炭酸次亜水を手軽に生成』除菌革命で強力除菌、消臭効果を発揮し、安心・安全を提供します。

■ 除菌水供給流量：6.5L/min (設置条件により変化します) ■ 重量 (本体)：10.2kg
■ 外形寸法 (本体)：H430×W300×D155 (mm) ■ 設置方法：壁掛け式

FHK 富士平工業株式会社 北海道富士平工業株式会社

小型
無電源

バッグ
交換式

コスト
削減

弱酸性



生産国：日本

証明された除菌力
ほとんどの菌は15秒で除菌
(99.9%以上99.99%の抑制を認め)

食中毒原因菌	病原菌
大腸菌、サルモネラ菌	カンジダ菌
腸炎菌	水生菌
MRSA、WHEC	真菌類
細菌類、セラチア菌	芽胞菌※
腸球菌カビ、 プロトゾアカビ	カビカビ菌、 結核菌

QRコード

詳細はコチラ↑

◆日本の獣医療・畜産業と人とペットの豊かな生活を守るため、研究開発・製造販売に全力で取り組んでおります。

★商系の配合飼料を利用している畜産経営者の団体★

<北海道全日本畜産経営者協会>

北海道全日畜

〒060-0809 札幌市北区北9条西4丁目7-1 ガレリアビル6F TEL 011-747-6380 FAX 011-747-6384

◆経営改善について様々な支援活動を行います。(女性や小グループの希望者を対象に相談会・勉強会も実施します)




農畜産物の情報に関するメールマガジンの配信をしています。希望される方は、機構 HP (<https://www.alic.go.jp/form/index.html>) から、登録をお願いいたします。

独立行政法人農畜産業振興機構
〒106-8635 東京都港区麻布台 2-2-1 麻布台ビル
TEL 03-3583-8196(代表) FAX 03-3582-3397

◆安全で、品質の優れた国産農畜産物を安定的に供給するために、生産者の経営を支援しています。

協賛広告

<p>第15回 全日本ホルスタイン 共進会 九州・沖縄ブロック大会 開催 2020年 10/31(土)~11/2(月) in 都城市</p> 	<p>一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会</p>  <p>〒164-0012 東京都中野区本町4丁目38番13号 電話 03(3383)2501 F A X 03(3383)2503 北海道支局 〒003-0011 札幌市白石区中央1条7丁目10-16 電話 011(350)6711 F A X 011(350)6715 ※現在、北海道支局は事務所建替えのため、仮事務所の住所を記載しております。</p>
<p>全共Web サイトはこちらから↑</p>	

◆改良の基礎は登録から ホームページ <http://hcaj.lin.gr.jp>



心をつなぐ新鮮ギフト
お肉のギフト券
Gift Card for Meat

全国加盟店 共通

全国食肉事業協同組合連合会 ☎03(3582)1241

お肉のギフト券は、全国加盟店
どこでもご利用になれます。

◆ご家庭に、笑顔と安心・安全をお届けする、全国4,000店のネットワーク。

	<p>組合員の経営全般をサポート!</p> <p>全国肉牛事業協同組合</p> <p>〒105-0003 東京都港区西新橋1-22-12 JCビル2F TEL 03-3503-8380 FAX 03-3503-8382 http://www.jcic-f1.jp/</p>	
---	---	---

◆肉用牛及び酪農経営支援のため、預託、共同購買、福利厚生事業等を実施しています。
お気軽にご相談下さい。

協賛広告

鳥獣害防止に
電池代 不要
電池交換



Nice price
ソーラーパワーを
ガクガクミニソーラー S16
¥29,800 (送料・消費税別)

サージミヤワキ株式会社 **東京 / 札幌 / 盛岡 03-3449-3717**

◆弊社は 2018 年、創業 60 年を迎えました。皆様のご支援あつての事、心より感謝申し上げます。記念モデルとしてミニソーラー S16 を発表しました。



ヨシダエールシステム株式会社

<http://www.yoshida-lsys.com>

本社・工場 和歌山県御坊市藤田町吉田155(〒649-1342)
TEL 0738-22-2111 FAX 0738-22-8885

東京支店 東京都千代田区飯田橋3-4-10(〒102-0072)
TEL 03-3511-0033 FAX 03-3511-3400

◆おつきあいを大切に・・・ ヨシダはあなたのご満足のお手伝いをします。

家畜のふんの堆肥化プラントは

私たちにおまかせください。

創意工夫を信条に、お客様と共に・・・



OKADA

有機性原料の堆肥化プラント

株式会社 岡田製作所

〒374-0042 群馬県館林市近藤町 318-2

TEL:0276-74-3838 FAX:0276-74-5818

Mail:eigyoun@okadass.com

URL:http://www.okadass.com

◆お客様のご要望にトコトン耳を傾けて、最良のご提案をしていきます。

協賛広告

牛専門の獣医師と共同開発、品質の高い製品
信頼と実績のMシリーズ


牛用飼料の専用工場
中国物産株式会社

〒714-0081 岡山県笠岡市笠岡2369-31
TEL0865-63-1110 FAX0865-63-1108
E-mail info@chuugoku-bussan.com
URL <http://www.chuugoku-bussan.com>




M牛用飼料
シリーズ

**日本養豚協会（JPPA）の活動は、
日本の養豚家の皆さんを元気にします！！**



日本豚
JAPANESE PORK



お家で育った畜産物

一般社団法人 日本養豚協会（JPPA）ホームページ：<http://pig.lin.gr.jp/>
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-15 高栄ビル 2F TEL：03-3370-5473 FAX：03-3370-7937

18万個以上の販売実績を持つLLシリーズに高輝度のLL27が新登場

- ◆ 250度の広角ビーム
- ◆ 640ルーメンの超高輝度
- ◆ カバーは破損レスのポリカーボネート樹脂
- ◆ 重量140gの軽量タイプ
- ◆ フリッカーフリーの回路構成



東西産業貿易株式会社 お問い合わせ先：03-3815-2233
<http://www.tohzai-sangyo.co.jp>

協賛広告

私たちはITで畜産経営を応援します

畜産経営管理支援ツールの開発・提供
GISエンジン上で稼働する地図情報システムの開発・提供
その他システム化に関するコンサルティング

〒111-0041 東京都台東区元浅草2丁目6番6号 東京日産台東ビル4階
URL <http://www.daiken-system.co.jp>
担当: ビジネス・ソリューショングループ 池田・花島

株式会社大建情報システム




オリジナル防疫・衛生対策資材

■泥落とし用ブラシマット「ゴシゴシ君」
・毛足の長い丈夫なナイロンブラシで長靴の泥など落としやすい
・コンパクトな150×300mm/組(つなぎ合せ可能)

■踏み消毒槽

・踏み易い消毒槽
・深さがあり、しっかり消毒



養鶏(採卵・ブロイラー)・養豚・養牛(酪農・肉牛)
「畜産関連の器具器材販売」

～畜産生産者のニーズにお応えします。～
全農畜産サービス株式会社
資材事業部
〒135-0041 東京都江東区冬木11番17号
TEL(03)5245-4871 Fax(03)5245-2424
ホームページ: <http://www.zcss.co.jp>

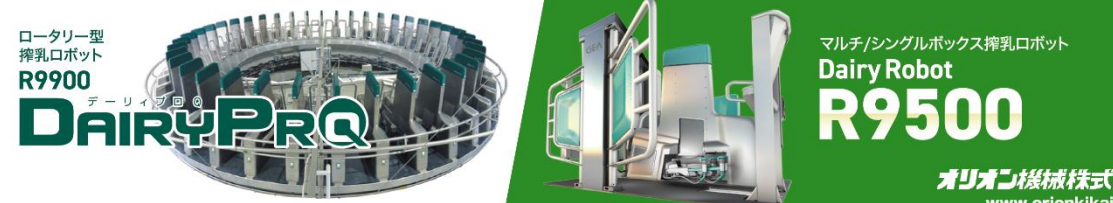
省力化が、強い経営力に。

ロータリー型
搾乳ロボット
R9900

DAIRYPRQ

マルチ/シングルボックス搾乳ロボット
Dairy Robot
R9500

オリオン機械株式会社
www.orionkikai.co.jp



ちくかんリースで、日本の畜産を元気に
女性経営者の方は、低い料率でリースが可能!

一般財団法人 畜産環境整備機構

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-12-1
☎ 03-3459-6300 FAX 03-3459-6315
URL <http://www.leio.or.jp>

LEIO
Livestock Industry's
Environmental
Improvement
Organization



- ◆畜産環境整備機構は、畜産農家の皆さまを機械や施設のリースで応援しています。
また、畜産環境の技術開発や堆肥の分析なども行っています。

協賛広告



那須高原ハーレー牧場の牛乳[®]


芳醇でコクがあるのに後味スッキリ!!
風味や旨味はストレスのない環境で決まる/
つまりは「牛の健康」、味の違いはここにある。





組合わせ自由ご予算に応じます。
好きな商品を選んで自分だけの特別なギフトに。

那須高原ハーレー牧場[®] 〒325-0115 栃木県那須塩原市百村489-3
TEL.0287-69-1180 FAX.0287-69-1234
URL. <http://www.nasu80farm.com/>

美味しいから幸せへ



(有) 那須高原今牧場 チーズ工房 

〒325-0304 栃木県那須郡那須町大字高久甲 5899-7 TEL 0287-74-2580 FAX 0287-74-2585
E-mail cheese@ima-farm.com



ひふみ養蜂園株式会社

～創業 70 年 本物の蜂屋から本物を～
蜂の駅 Cafe123 にて
☆みつろうキャンドル作り体験
☆みつばちソフト新発売




(ひふみのハチミツ)
TEL:0120-123-832
HP:123-832.com

◆養蜂園ならではの体験・味わいをぜひ!!

協賛広告

日本の畜産業界を
力強く支えています

協同組合 日本飼料工業会

〒106-0041 東京都港区麻布台2丁目2番1号
TEL 03-3589-8031 FAX 03-3589-8020
<http://www.jafma.or.jp/>



一般
社団法人

日本草地畜産種子協会

令和元年注目の品種

ソルガム「華青葉」ペレニアルライグラス「道東1号」イタリアンライグラス
「はやまき18」「きららワセ」、飼料イネ（WCS用）「つきすずか」「たちあやか」



全国畜産農業協同組合連合会



本所/〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館
TEL 03 (3297) 5531 FAX 03 (3297) 5536 <http://www.zenchikuren.or.jp>
支所/東北・東京・福岡 事業所/帯広・神戸・南九州
子会社/株式会社ぜんちく那須山麓牧場
〒329-2747 栃木県那須塩原市千本松776-1
TEL 0287 (36) 0042 FAX 0287 (36) 3962 <http://www.zenchiku-nasusanroku.co.jp>

畜産映像情報

がんばる! 畜産! 3

畜産トレンド発見!
なるほど! 畜産現場
ドキュメント! 畜産の新主役たち



「がんばる! 畜産! 3」は2つのメディアでご覧になれます。

(公社)中央畜産会ホームページ <http://jlia.lin.gr.jp/ganbaruchikusan/>
BS234ch グリーンチャンネル 毎週月曜～金曜午前7時～8時

農林放送事業団
東京都港区赤坂1-9-13
TEL 03-3583-6901

協賛広告

日本養鶏協会は、全国畜産縦断いきいきネットワークを
応援いたします。

一般社団法人日本養鶏協会
会長 齋藤 利明



埼玉
武州
和牛

厳選された極上の味わい。

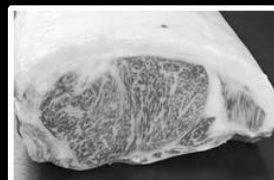
埼玉県 武州和牛組合

〈事務所所在地〉〒367-0212 埼玉県本庄市児玉町児玉 2152-9
TEL 0495-72-0828 FAX 0495-72-8576
URL <http://bushu-wagyu.jp/union.html>

厳選された極上の味わい...

美味しい水、澄みきった空気、大自然に恵まれた素晴らしい環境
の中で、飼育農家が子牛の導入時から、快適な飼育環境を図り、
牛に過度なストレスを与えず、のびのび育つように、十分な粗飼
料とオリジナルの濃厚飼料で丹精込めて生産しました。

武州和牛は、熟練した飼育技術者達による愛情と情熱の結晶です。



協賛広告



日本養豚事業協同組合

Japan Swine Farm Business Cooperation

〒104-0033 東京都中央区新川 2-1-10 八重洲早川第2ビル6階

TEL:03-6262-8990 FAX:03-6262-8991 e-mail:info@tonjikyo.or.jp

- ◆日本の養豚家を元気にする！日本養豚事業協同組合は生産者による生産者のための組織です。



月刊 肉牛ジャーナル

毎月1日発行 定価1,650円(1・7特大号2,060円)
1年間20,000円 A4判 100頁(特大号は120頁)

肉牛ジャーナルは肉牛生産者向けの専門情報誌です！
特集のほか、優良経営事例のルポ記事、技術情報、
種雄牛情報、業界のニュース、カラーグラビアなどが満載！
枝肉共励会だよりでは最優秀賞牛の枝肉写真をカラーで掲載、
充実の市況欄も好評です！

肉牛新報社

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-8-12-703
TEL:(03)5577-4129 FAX:(03)5577-4122
<http://www.nikugyu.sakura.ne.jp/>



耕そう、大地と地域の未来。



全国農業協同組合連合会

～畜産映像情報 がんばる！畜産！3～

公益社団法人中央畜産会のホームページ「畜産映像情報 がんばる！畜産！3」では、各地の優れた畜産経営や、後継者の活躍、おいしくて安全な畜産物を消費者の方々に届けるまでを映像で紹介しています。

「畜産トレンド発見！」のコーナーにおいて、いきいきネットワーク大会の様子もご覧になれます（12月16日配信予定）。ぜひ閲覧してください。

<http://jlia.lin.gr.jp/ganbaruchikusan3/>

(公社)中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報
がんばる！畜産！3

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！
配信中の内容：IoT技術の活用／農場HACCP／搾乳ロボット／他



◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産 🔍



(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

編集後記

8月の大会では猛暑の中、たくさんの会員、関係者をはじめ、多くの方に参加いただきましたことに感謝申し上げます。

また、豚コレラの影響により参加できなかった方も多くいらっしゃいました。一日でも早い終息を願います。

今年の大会は畜産女性経営者育成強化事業の「全国シンポジウム」と同日開催となりました。より多くの方々に畜産女性の活躍、いきいきネットワークの活動を知ってもらう良い機会になったかと思えます。

これからも、いきいきネットワークの活動を通して、畜産の明るい未来へ向けて会員の皆様が先頭に立って引っ張っていきましょう。

全国畜産縦断いきいきネットワーク 事務局

編集・発行

全国畜産縦断いきいきネットワーク情報発信担当理事
全国畜産縦断いきいきネットワーク事務局 《(公社) 中央畜産会》



TEL03-6206-0843 (事務局直通) FAX03-5289-0890

e-mail joseinet@sec.lin.gr.jp

ホームページ <http://jlia.lin.gr.jp/joseinet/>

著作権は各執筆者に帰属します。無断転載を禁止します。

会員を随時募集中です！